

令和6年度  
第2回入間市文化財保護審議委員会  
＜次 第＞

日 時 令和6年11月7日(木)  
午後1時30分～4 時  
会 場 旧石川組製糸西洋館

1 開会

2 挨拶

3 質問

- (1) 入間市指定文化財の新規指定について
- (2) 「旧石川組製糸西洋館保存活用計画」の改定について

4 議題

- (1) 入間市指定文化財の新規指定について[資料 1]
- (2) 「旧石川組製糸西洋館保存活用計画」の改定について[資料 2]

5 報 告

- (1)旧黒須銀行復元改修事業の進捗状況について
- (2)旧黒須銀行復元修理事業への寄附について
- (3)登録有形文化財候補建造物の実査について
- (4)當摩本店の建造物調査について
- (5)「手揉み製茶」の登録無形文化財への答申について[資料 3]
- (6)その他

6 その他の事項

7 閉 会

## 資料 1

### 理由書

(1)名 称 老茶樹跡 付老茶樹樹幹、関係資料一括

(2)種 別 史跡

(3)所 在 地 [REDACTED] [REDACTED]

入間市大字二本木 100番地（入間市博物館寄託）

(4)所 有 者 [REDACTED] [REDACTED]

(5)指定の理由

老茶樹という呼称は、昭和10年代に枯死した樹齢約320年の古木（樹高5m、根回り56cm、茶樹面積4m<sup>2</sup>）と、現存する茶樹群（樹高3m、畝幅2m、畝長10m）とを併せてのものである。

老茶樹は、中村家の口伝によると初代権左衛門が、慶長年間頃（1596～1615）、山城国宇治地方（京都府）から持ち帰った種子を自宅の庭に蒔いて育ったと伝えられている。明治時代にはその存在や希少価値から、「狭山名勝天然記念物番付」に掲載されており、現時点においても樹幹等で確認しうる県内最大の樹高を持つ茶樹であった。

明治17年には「茶園元祖」として埼玉勧業課の有志や製茶機械の発明者になった高林健三などから寄附があり、明治35年には国から茶園栽培試験委託の指定を受け、全国に知られるようになった。この古木の見学に植物学者の牧野富太郎や、「やぶきた」育種家の杉山彦三郎、大著『A L L ABOUT TEA』を著したウィリアム H ユーカーズなど多くの研究者・茶業技術者・政治家等が訪れている。

現在はこの茶樹の種子から実生で育ったとみられる茶樹群が畝を成し、これも老茶樹と称している。かつての老茶樹を撮影した古写真には、周囲に茶樹群が映っているが、現存する茶樹群に継承されている可能性がある。生育状況は、中村家の栽培管理がよく行き届いて良好である。

老茶樹跡は、武蔵国の茶業史において、中世の川越茶・慈光茶が衰退したのち文化文政年間に狭山茶として復興するまでの、文献史料上の空白期間をつなぐ歴史的価値とともに、狭山茶業発生の記念碑的な場として重要である。

関係史料として、明治期の文書や参観人芳名録、老茶樹を撮影した古写真が残っている。

## 旧石川組製糸西洋館の保存と活用の現状について

～旧石川組製糸西洋館保存活用計画【平成 30 年策定】の改定にむけて

### 第 1 回保護審議委員会資料【参考 2】

文化財保護法に基づく保存活用計画の策定等に関する指針

#### III. 保存活用計画の趣旨より

保存活用計画は、国指定文化財及び登録文化財を対象に、その所有者又は管理団体（以下「所有者等」）が作成するものであり、各文化財の個別の状況に応じて、その保存・活用の考え方や所有者等において取り組んでいく具体的な取組の内容を位置付けた、個々の文化財の保存・活用を進めていくための指針となる基本的な計画である。

保存活用計画において、個々の文化財の保存状態や管理状況等の現状と、次世代への継承に向けて直面する課題を整理し、保存・活用を図るために必要な事業等の実施計画を定め、これに基づいて中・長期的な観点からの取組が進められることとなる。

保存活用計画の作成・推進を通じて、当該文化財の保存・活用に関する基本的な考え方や、厳密に保存すべき箇所と改変が許容される部分・程度等が明確化され、所有者等が自らの判断に基づき、迅速に修理や活用を図ることができること、また、保存・管理の的確性が向上し、特定の行為を行う場合に必要な許可や届け出など法に基づく手続き等が分かりやすくなること、さらに、保存・活用のために必要な事項が地域住民や行政等において共通の認識となり、所有者等だけでは対応が難しい部分への支援強化が見込めるなどの効果が期待される。

### ■ これまでの経緯

西洋館は、平成 15 年に前所有者から市に建物が寄贈された。しかし、建物は経年劣化により様々な箇所に損傷が見られるとともに、本館では雨漏りが頻繁に発生し、その保存が最大の課題となっていた。また、市が所有してからは、以前から行われてきた撮影等への貸出のほか、年数回の特別公開やコンサート等のイベントを実施してきた。しかし、積極的な活用に必要な設備が不足しており、活用は試行的・限定的なものに留まっていた。

このような中、国から交付金を受けることで、平成 29 年度に長年の懸案事項であった本館屋根の改修工事を実施するとともに、活用に必要な施設の整備を行うことができた。

また、同時に今後の西洋館の保存と活用を図っていくための「旧石川組製糸西洋館保存活用計画」が策定され、平成 30 年度からはこれに基づいた一般公開、各種事業の実施など、本格的な活用が開始されている。

## ◎市所有後の主な出来事

平成15年 9月 前所有者から建物の寄贈を受ける。 ※用地は市で取得  
12月 試行的・限定的な活用を開始。 ※年数回の特別公開、撮影への貸出等

平成16年 6月 市教育委員会で「旧石川組製糸西洋館保存活用基本計画及び改修計画」を策定。

平成20年 3月 市文化財保護審議委員会から「西洋館の保存活用に関する答申」が出される。

平成29年 2月 「入間市近代化遺産整備活用事業」が国の「地方創生拠点整備事業交付金」で採択。  
西洋館本館屋根及び別館等改修工事を実施（平成29年7月～平成30年3月）。

9月 市文化財保護審議委員会へ西洋館保存活用計画に係る意見を聴取。

平成30年 1月 市教育委員会で「旧石川組製糸西洋館保存活用計画」を策定。

4月 「入間市旧石川組製糸西洋館条例」「同施行規則」を施行。

7月 一般公開を開始。

現在 一般公開、各種事業（主催・共催）、撮影貸出等を実施。

<以下は「旧石川組製糸西洋館保存活用計画」の項目と対照してご覧ください>

## 4 基本方針

- ◎ 西洋館を市の歴史・産業のみならず、国内における製糸業の発展を理解するための建物として保存するとともに、将来にわたり守り伝えていくべき貴重な文化財として位置づけ必要な保護を図っていく。
- ◎ 西洋館の特色を生かした事業を実施していくことで、地域の活性化につなげる施設として活用していく。

## 5 保存計画

### (1) 現 状

#### 【建物外観】

本館・別館とも外壁は創建当時の煉瓦調の化粧タイルが美しく残っている。西洋館の文化財として、観光資源としての価値を高める上で、現状の状態を残しつつ保存していく。

⇒ 平成29年度 屋根改修工事（現状の洋瓦を使用、木材は可能な限り補修して使用）  
※国交付金（地方創生拠点整備交付金）

#### 【建物内部】

##### ○本 館

一部に改造の跡が見られるものの、創建当初の様式を良く残しており、その雰囲

気と相まって西洋館の魅力につながっている。本館については、文化財的価値を残すために、現状を変更することなく建物を保存していくことを第一とする。なお、今後の修繕・改修に当たっては、文化財としての保存に基づいた方法で復元を中心にしていく。

- ⇒ 平成27年度 電気設備改修（LED照明）※国補助金（地方創生先行型補助金）
- ⇒ 平成29年度 一部復原修理（一階通路・裏階段、バス・トイレなど）  
※国交付金（地方創生拠点整備交付金）
- ⇒ 令和2年度 四君子ステンドグラス修復 ※朝日新聞文化財団助成

### ○別館

過去に大幅な改変が行われているとともに、創建当初の設計図が残っていないため復元は困難である。別館については、改変が行われている部屋を中心に、今後の活用のために必要な改修を行っていく。

- ⇒ 平成29年度 設備整備（キッチン、男女トイレ、事務室）  
※当時の壁・天井を残しながら整備（将来的に復元可）  
一部復原修理（洗濯室→本館・別館間の通路）  
※国交付金（地方創生拠点整備交付金）

### 【館庭など】

建物の魅力を高めるためには、館庭の景観は重要な要素である。西洋館でも以前は日本庭園が整備されていたとの記録があるが、現在の敷地では、復元は不可能である。このため館庭については、復元にこだわらず、西洋館の雰囲気にあった形で整備することで建物の魅力を高めていく。また、文化財としての制約はあるが、障害者に配慮したバリアフリーへの対応も検討する。

- ⇒ 平成24年度 館庭整備工事（植栽整備）  
※県補助金（身近なみどり保全・創出市町村支援事業補助金）
- ⇒ 平成27年度 ライトアップ設備設置 ※国補助金（地方創生先行型補助金）
- ⇒ 令和2年度 裏門再現、駐車場整備、灯籠（復元）・ベンチ設置  
※県ふるさと創造資金（魅力ある地域づくり事業補助金）

## 6 活用計画

### （1）現状

ア 一般公開～西洋館の魅力をより深く知つもらう～

#### （ア）公開日

令和6年度は4月～11月、令和7年3月の土日を中心に年44日間

公開時間は10時～16時

見どころガイドは1日3回（10時15分～、13時15分～、14時30分～）

## 【実績】

※令和6年9月時点

年度	日数	一般	団体	無料	免除	合計
平成30年度	30	2,528	251	153	70	3,002
令和元年度	39	2,077	210	123	67	2,477
令和2年度	30	873	63	74	47	1,057
令和3年度	43	2,184	21	142	110	2,457
令和4年度	47	3,298	199	296	120	3,913
令和5年度	46	2,142	60	228	145	2,575
令和6年度	28	1,268	43	536	60	1,907

## (イ) 団体等の見学

団体等の見学の要望がある場合は、公開日のみならず平日等も対応している。  
市内を中心に団体見学、旅行会社からはツアー見学場所のひとつとして申込がある。

【実績】57件（団体）1,203人（令和6年9月時点）

## (ウ) 喫茶コーナー

公開日に本館食堂を、喫茶コーナーとして運営し、コーヒー（ホット＆アイス）、  
狭山茶ペットボトル等飲み物のほか、お菓子（マドレーヌ・クッキー等）を販売。  
(食品営業許可を取得し、職員が販売)

## (エ) 展示

「控えの間」を展示コーナーとして、石川組製糸・西洋館の来歴を紹介している。  
ロケ地巡りのファンに向けて、撮影スポットの展示等も行っている。  
撮影の貸出であることから、固定的な展示具はなるべく設けていない。

## (オ) 来館記念品

来館者向けに西洋館見学記念のグッズを製作し、販売している。  
「絵葉書」「クリアファイル（5種類）」「一筆箋」「手ぬぐい」  
食べ物は販売可能な期間が限られることから、現在は販売していない。

## (カ)ボランティア

ガイドには「西洋館コンシェルジュ」、館庭の景観維持には「西洋館お手入れボランティア」の皆さんのご協力をいただいている

## イ 撮影への貸出～西洋館を多くの人に知ってもらう～

撮影可能日時は、近隣への騒音等を考慮して、平日の9時～21時としている。  
撮影会社の対応は職員が行い、公表可能なものはロケ情報を発信している。

**【実績】**

※令和6年9月時点

年度	件数	日数	使用料	備 考
平成30年度	29件	48日	6,550,000円	
令和元年度	27件	39日	4,740,000円	
令和2年度	11件	16日	2,660,000円	休止期間あり
令和3年度	24件	55日	7,440,000円	休止期間あり
令和4年度	15件	22日	3,320,000円	
令和5年度	21件	52日	8,290,000円	
令和6年度	10件	13日	1,400,000円	

※撮影が行われた主な作品は「入間市公式ホームページ」を参照のこと。

**ウ 各種事業 ~ 西洋館を地域の活性化につなげる ~**

- (ア) 主催事業
- (イ) 共催事業

**【実績】**

別添「西洋館 主催・共催事業一覧表」のとおり

**7 管理運営**

博物館が所管し、文化財担当3人とパート職員3人で各種業務を分担して行っている。  
撮影への貸し出し当日の対応は、警備会社へ管理委託をしている。

**8 今後の保存・活用に向けて****(1) 保存と活用について**

現在の建物は、長年の雨漏りによるシミや汚れ、経年劣化により破損している箇所があり、これらはせっかくの来館者の印象を悪くすることが懸念される。早急に対応していく必要があるが、修復に当たっては文化財としての価値を損なわないようしていく必要がある。

現在の保存活用計画では、保存方針や修理方法が、各部屋ごとに決められていないため、判断が難しい状態である。改定にあたっては、保存の対象とする範囲を設定する必要がある。

これには活用方法も影響するので、計画期間（5～10年）に考えられる活用案の洗い出しある必要である。

また、建物の安全性や防災・防犯等については触れていないので、課題と対策を検討する必要がある。

## 【過去の調査・関連する文献等】

### ○西洋館（建物）関係

埼玉県教育委員会『埼玉県の近代化遺産－近代化遺産総合調査報告書－』1996

※グラビア頁、第3次調査対象・各論に掲載

文化財工学研究所編『黒須西洋館建造物（旧石川組製糸西洋館）調査報告書』1999

石川嘉彦・石川三郎・阿部正和編『石川家の人々』2002 ※西洋館の記述を含む

安部清子「黒須・石川家西洋館付随の茶室」『入間市博物館紀要 第3号』2003

齊藤祐司「旧石川組製糸西洋館建物について」『入間市博物館紀要 第9号』2011

埼玉県教育委員会『埼玉県の近代和風建築－埼玉県近代和風建築総合調査報告書－』2017

※グラビア頁、3次調査対象・No.47掲載

### ○石川組関係

石川嘉彦・石川三郎・阿部正和編『石川家の人々』2002

染井佳夫「西洋館と石川組製糸をめぐる人々」『入間市博物館紀要 第9号』2011

大平茂男・三浦久美子「武蔵豊岡教会旧牧師館（天祐堂）の建物について」『入間市博物館紀要 第10号』2013

染井佳夫「ある石川組製糸工女の生活と生き方」『入間市博物館紀要 第10号』2013

染井佳夫「キリスト者石川和助の経験と思考」『入間市博物館紀要 第11号』2015

染井佳夫「石川和助と埼玉の廢娼運動」『入間市博物館紀要 第12号』2017

染井佳夫「石川組製糸および石川家関係資・史料リスト－産業史・文化史等の視点から（中間報告）」『入間市博物館紀要 第13号』2019

三浦久美子「石川組製糸所本店工場想像復元模型の製作について」『入間市博物館紀要 第13号』2019

旧石川組製糸西洋館 主催・共催事業一覧表【平成30年度以降】

実施年	期日	事業名	参加者数
平成30年（2018）	5月3日（木・祝）	一般公開プレオープンイベント ※入間市観光協会との共催	775人
	7月7日（土）	西洋館オープニングイベント	770人
	9月19日（水）	サロンコンサート in 西洋館 ※文化創造アトリエ アミーゴ共催	50人
	10月21日（日）	西洋館で聴く Jazz レコード鑑賞会 ※入間ジャズクラブ共催	100人
	11月17日（土）	講座「入間に残る石川組製糸西洋館の思い出」	25人
	11月23日（金・祝）	講演会「旧石川組製糸西洋館の建築的魅力」	52人
平成31年（2019）	3月31日（日）	西洋館で聴く～ユーフォニアムとピアノのコンサート	63人
	4月20日（土）	Iruma Spring Concert 2019 清水夕紀子ソロ&わたなべよし美ピアノin西洋館 ※入間市の文化遺産をいかす会共催	89人
令和元年（2019）	5月19日（日）	西洋館で聴く Jazz レコード鑑賞会（第2回） ※入間ジャズクラブ共催	65人
	5月26日	一般公開日ミニコンサート ※参加者数は一般公開来館者数で計上	-人
	6月1日（土）	講演会「天窓に咲いた花ばな —琳派からアルヌーボー・アールデコまで—」	34人
	6月9日	一般公開日ミニコンサート ※参加者数は一般公開来館者数で計上	-人
	7月7日（日）	入間市西洋館の日2019 ※入間市商工会共催により 「いるバル屋台村in西洋館」を同時開催	700人
	9月8日（日）22日（日）	写真講座「西洋館を100倍うまく撮る方法」	28人
	10月5日（土）	ぬい撮りin西洋館	12人
	10月19日（土）	「西洋館・秋の茶会～幻の茶室を偲んで～」 ※入間市の文化遺産をいかす会共催	67人
	11月6日	一般公開日ミニコンサート ※参加者数は一般公開来館者数で計上	-人
	11月16日（土）	講座「石川組製糸と石川家の人々」	14人
令和2年（2020）	3月21日（土）	コスプレ撮影会in西洋館【中止】	-人
	5月27日（日）	西洋館で聴く Jazz レコード鑑賞会【中止】	-
	9月26日（土）	ぬい撮りin西洋館Vol.2	4人
	10月17日（土）	Iruma Autumn Concert 2020 佐藤 圭テノール in 西洋館 ※入間市の文化遺産をいかす会共催	67人
	10月31日（土）	コスプレ撮影会in旧石川組製糸西洋館	18人
令和3年（2021）	3月20日（土）	西洋館講演会「幻の茶室」【中止】	-人
	4月25日（日）	ステンドグラス修復完了報告会	24人
	5月23日（日）	西洋館で聴く Jazz レコード鑑賞会（第3回） ※入間ジャズクラブ共催	61人
	6月5日（土）	コスプレ撮影会in西洋館	4人
	6月19日（土）	講演会「幻の茶室」	18人
	7月7日（水）	「入間市西洋館の日2021」特別公開	113人

旧石川組製糸西洋館 主催・共催事業一覧表【平成30年度以降】

実施年	期日	事業名	参加者数
	10月16日(土)	ぬい撮りin西洋館Vol.3	9人
令和3年（2021）	11月20日(土)	七五三撮影会	41人
	11月23日(火・祝)	テレジンを語りつぐ絵画展示及び講演会 ※テレジンを語りつぐ会東松山	52人
	12月11日(土)	スチームパンク撮影会 ※ヴィクトリアン連絡協議会共催	30人
令和4年（2022）	5月22日（日）	西洋館で聴くJazzレコード鑑賞会（第4回） ※入間ジャズクラブ共催	72人
	6月4日（土）	コスプレ撮影会in西洋館	9人
	6月24日（金）～7月15日（金）	映画「ラストサマーオース」関連見学会 ※市内小学校6年生14校（児童1,063人、教員48名）	1,111人
	7月3日（日）	西洋館ステンドグラス講演会	32人
	7月7日（木）	「入間市西洋館の日2022」特別公開 ※参加者数は一般公開来館者数で計上	-人
	7月9日（土）	公開日ミニコンサート ※参加者数は一般公開来館者数で計上	-人
	9月24日（土）～25日（日）	舞踏披露会（「入間の乱～秋の陣～」） ※参加者数は一般公開来館者数で計上	-人
	10月15日（土）	ぬい撮りin西洋館Vol.4	6人
	10月29日（土）	西洋館コーヒー講座	23人
	11月12日（土）	七五三撮影会	44人
	3月11日（土）～12日（日）	舞踏披露会（「入間の乱～百花繚乱～」） ※参加者数は一般公開来館者数で計上	-人
令和5年（2023）	3月19日（日）	朗読鑑賞会	27人
	5月21日（日）	西洋館で聴くJazzレコード鑑賞会（第5回） ※入間ジャズクラブ共催	71人
	6月18日（日）	琵琶とシタールの響き ※オフィス藤桜音共催	31人
	7月7日（金）	入間市西洋館の日特別公開（公開日・無料） ※参加者数は一般公開来館者数で計上	-人
	7月8日（土）	公開日ミニコンサート ※参加者数は一般公開来館者数で計上	-人
	9月9日（土）～10日（日）	舞踏披露会 ※参加者数は一般公開来館者数で計上	-人
	10月21日（土）	秋の茶会 ※入間市の文化遺産をいかす会共催	61人
	11月11日（土）	七五三撮影	62人
	11月25日（土）	冬隣の音楽お茶会 ※ヴィクトリアン連絡協議会共催	20人
令和6年（2024）	3月17日（日）	講座「わが国における西洋館の軌跡」	19人
	5月12日（日）	西洋館で聴くJazzレコード鑑賞会（第6回） ※入間ジャズクラブ共催	30人
	5月18日（土）	大正レトロdeこけ～ら散歩 ※入間市文化遺産をいかす会共催 ※※参加者数（21人）は一般公開来館者数で計上	-人
	7月7日（日）	入間市西洋館の日 特別イベント（公開無料、演奏会ほか） ※参加者数は一般公開来館者数で計上	-人

## 資料3

### I. 答申内容

#### 登録無形文化財の登録及び保持団体の認定（新規2件）

登録無形文化財	保持団体		
名称	名称	代表者	事務所の所在地
(生活文化の部)			
華道 かどう	日本いけばな伝統文化協会 にほん でんとうぶんかきょうかい	会長 大津 隆範 (雅号 大津 光章) おおつ たかのり こうしょう	大阪府大阪市中央区 高麗橋1-3-4 公益財団法人 日本いけばな芸術協会 西部事務局内
手揉み製茶 てもみせいぢゃ	手もみ製茶技術保存会 せいちやぎじゅつけんかい	会長 中森 慰 なかもり やすし	静岡県静岡市葵区 北番町94 株式会社静岡茶市場 全国手もみ茶振興会 事務局内